



2019年1月期 第3四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証第一部(証券コード:1433)

決算のポイント(連結)

売上高

3,252百万円

- 工事が順調に進んだため、売上高は増収で推移しております。

営業利益

220百万円

- 売上総利益は増益となりましたが、本社移転等の一時費用により営業利益は若干の減益で着地しました。

受注残高

1,499百万円

- 受注残高は順調に消化しておりますが、受注工事高も堅調に推移しているため、十分な残高を維持しております。

通期業績予想
(当期純利益)

540百万円

- 経営資源価値の最大化並びに財務体質の強化を目的として、固定資産(本社ビル)を譲渡しました。本譲渡に伴い、388百万円の譲渡益を特別利益に計上したため、通期業績予想の修正を行っております。

※2019年1月期 第1四半期から連結決算へ移行しておりますが、本資料では参考として主に個別決算との比較を記載しております。

投資戦略について

当社のビジネスモデルは、資産を保有しない「持たざる経営」を方針としております。この方針に則り、旧本社ビル（東京都墨田区）を売却しました。売却利益は、M&A等の投資資金に使用し、経営資源価値の最大化を図ってまいります。



持たざる
経営

- ・本社ビルを固定資産として保有しておりましたが、工事用の重機や部隊を保有しない「持たざる経営」に則り、本社ビルを売却しました。
- ・今後は、本社を賃貸することにより、事業規模の拡大に柔軟に対応してまいります。

投資
資金

- ・当社はM&Aの推進を中期経営計画の重要戦略として捉えており、様々な提携を通じて、事業規模の最大化を図ってまいります。
- ・本社ビル売却による利益は、M&A等の投資資金に充当してまいります。
- ・営業拠点の拡充を進めており、京浜地区の拠点設置を検討しております。

損益計算書: 第3四半期(2019年1月期)

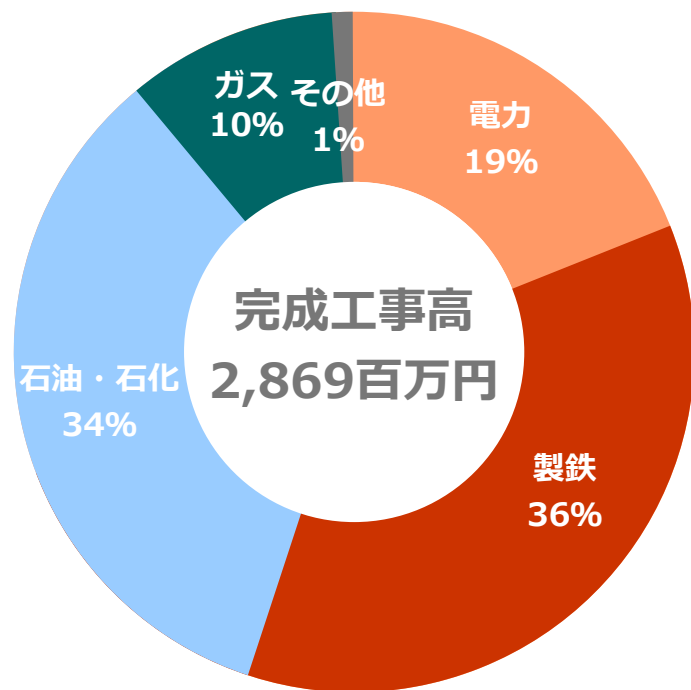
売上高は、工事が順調に進んだため、9.0%の増収となりました。四半期純利益は、固定資産(本社ビル)を譲渡し、388百万円の譲渡益を特別利益に計上したため、前年同期と比較して大幅な増益となっております。

単位: 百万円

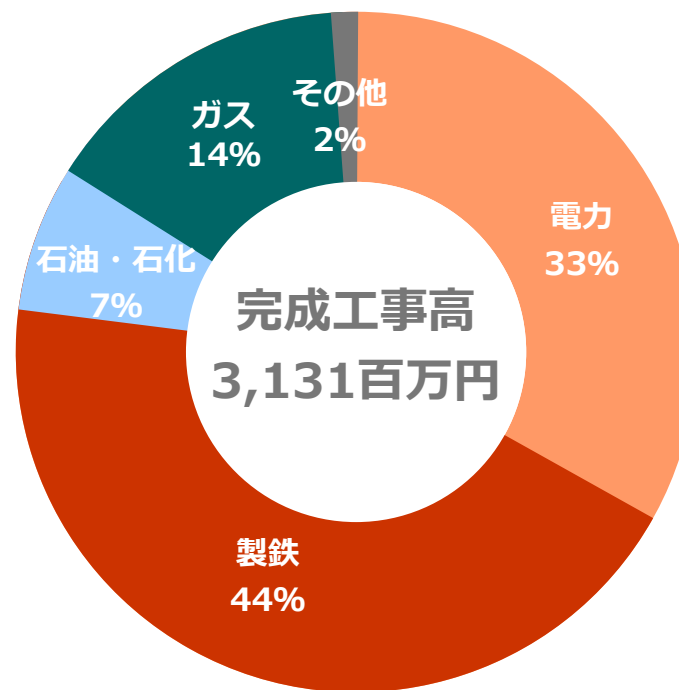
	2019年1月期 第3四半期 (連結)	2019年1月期 第3四半期 (個別)	対売上高 比率 (個別)	前年同期 (個別)	前年同期比増 減額 (個別)	前年同期比増 減率 (個別)
売上高	3,252	3,182	—	2,920	261	9.0%
売上総利益	600	591	18.6%	579	11	2.1%
販売費及び 一般管理費	379	363	11.4%	349	13	3.9%
営業利益	220	227	7.2%	229	▲1	▲0.8%
経常利益	220	227	7.2%	216	10	4.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	419	426	13.4%	150	275	182.8%

業界別 完成工事高構成比率

2018年1月期はエチレン製造設備の工事完成を受け、石油化学の割合が高くなっていました。2019年1月期は、製鉄の比率が依然として高いものの、注力している電力関係の比率が順調に増加しております。



2018年1月期（第3四半期）

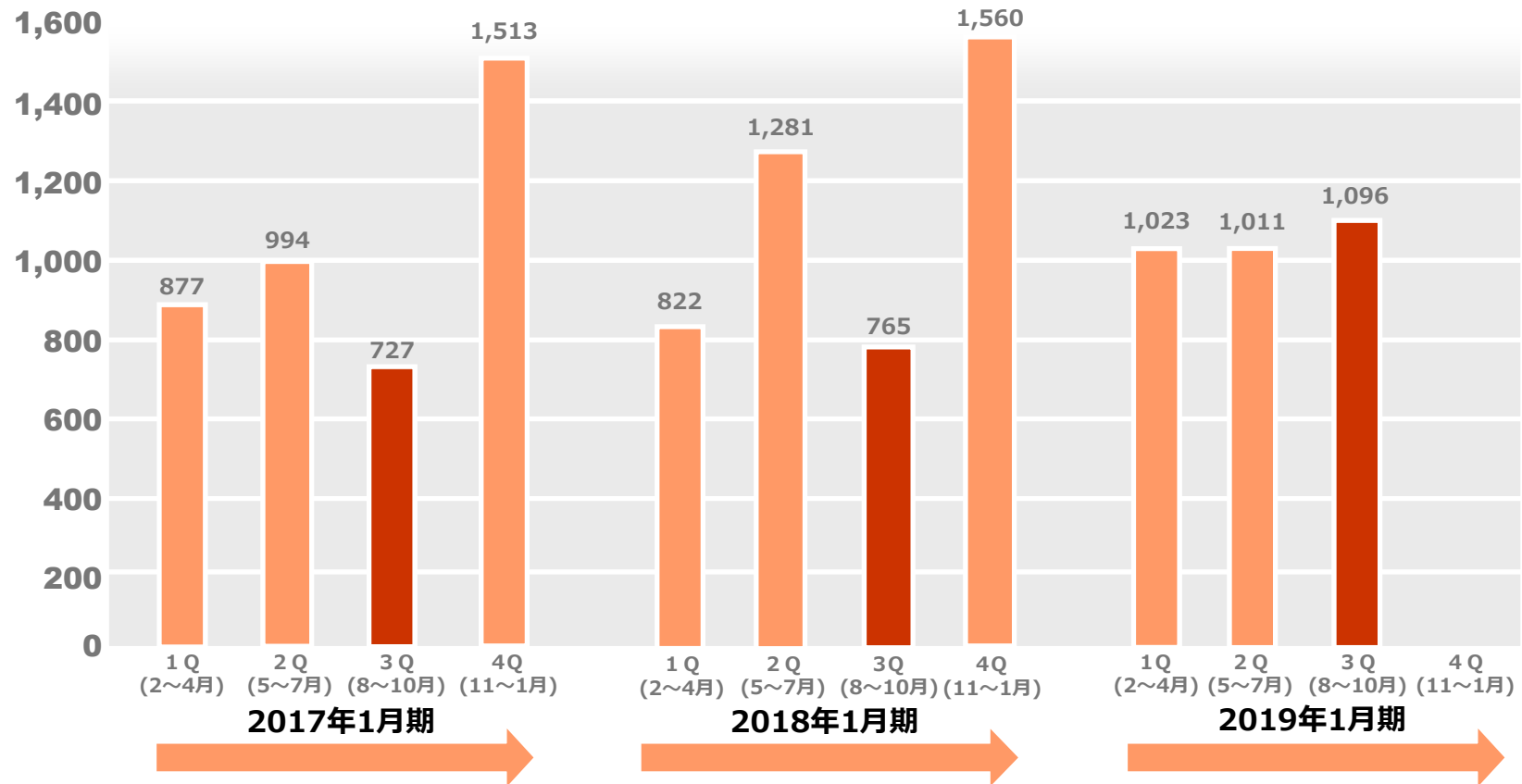


2019年1月期（第3四半期）

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。2019年1月期も、第4四半期会計期間に計上される割合が高くなる見込みです。

単位: 百万円



販売費及び一般管理費：第3四半期(2019年1月期)

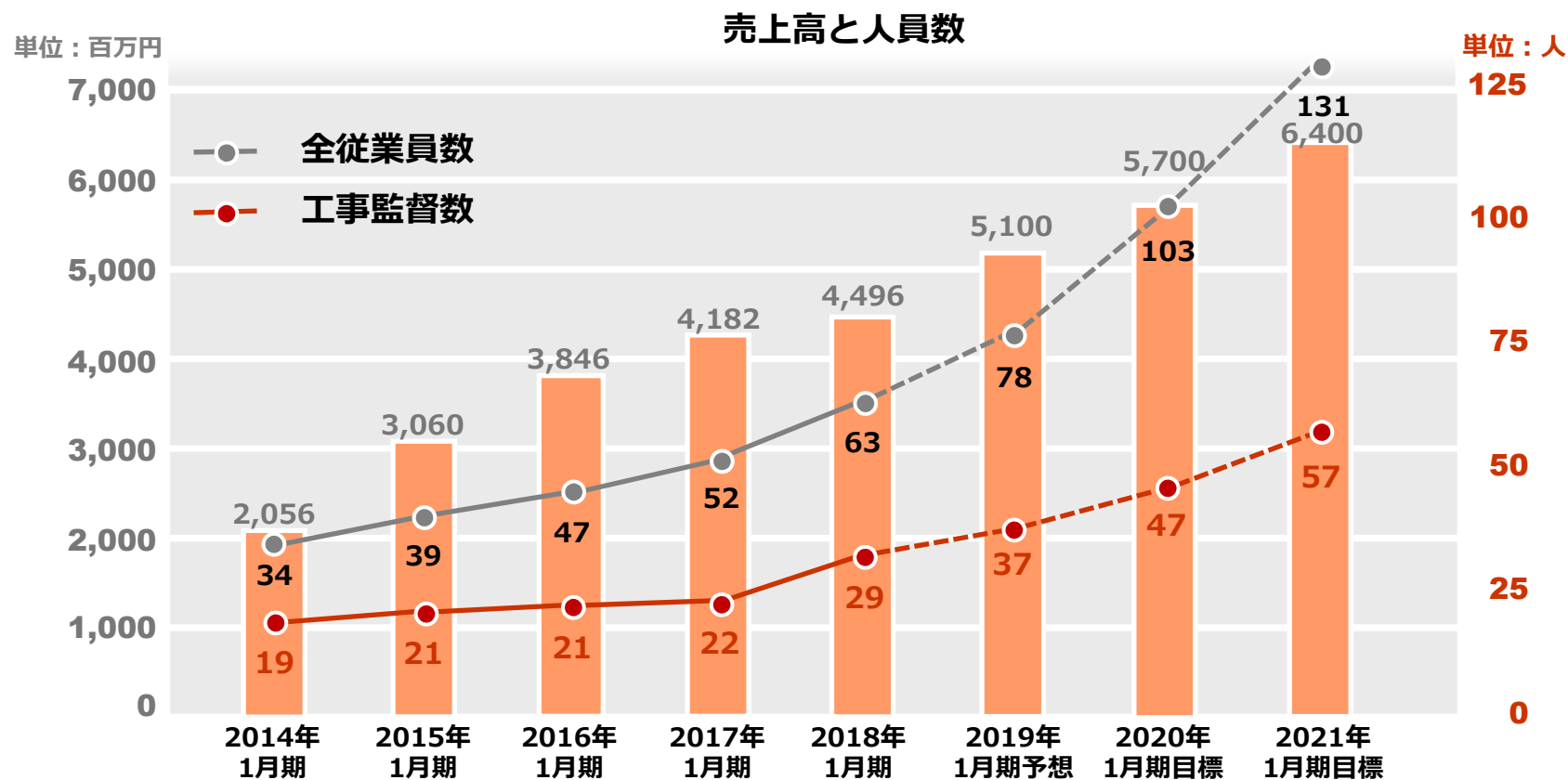
本社移転に係る一時費用や、元請工事増加のための広告宣伝(展示会出展)等の戦略的事業投資を積極的に推進しております。

単位: 百万円

	2019年1月期 第3四半期 (連結)	2019年1月期 第3四半期 (個別)	前年同期 (個別)	前年同期比 増減額 (個別)	前年同期比 増減率 (個別)	主な増減要因
人件費	178	169	171	▲1	1.0%	工事監督以外の人員
研究開発費	9	9	5	4	73.0%	ロボット開発
支払手数料 支払報酬	38	37	49	▲12	▲24.5%	上場市場変更費用の減少
採用費	9	9	13	▲4	▲32.4%	広告媒体、紹介手数料等の減少
広告宣伝費	15	16	7	8	113.7%	展示会実施
その他	127	120	101	19	18.9%	本社移転費用
合計	379	363	349	13	3.9%	

人員計画の進捗

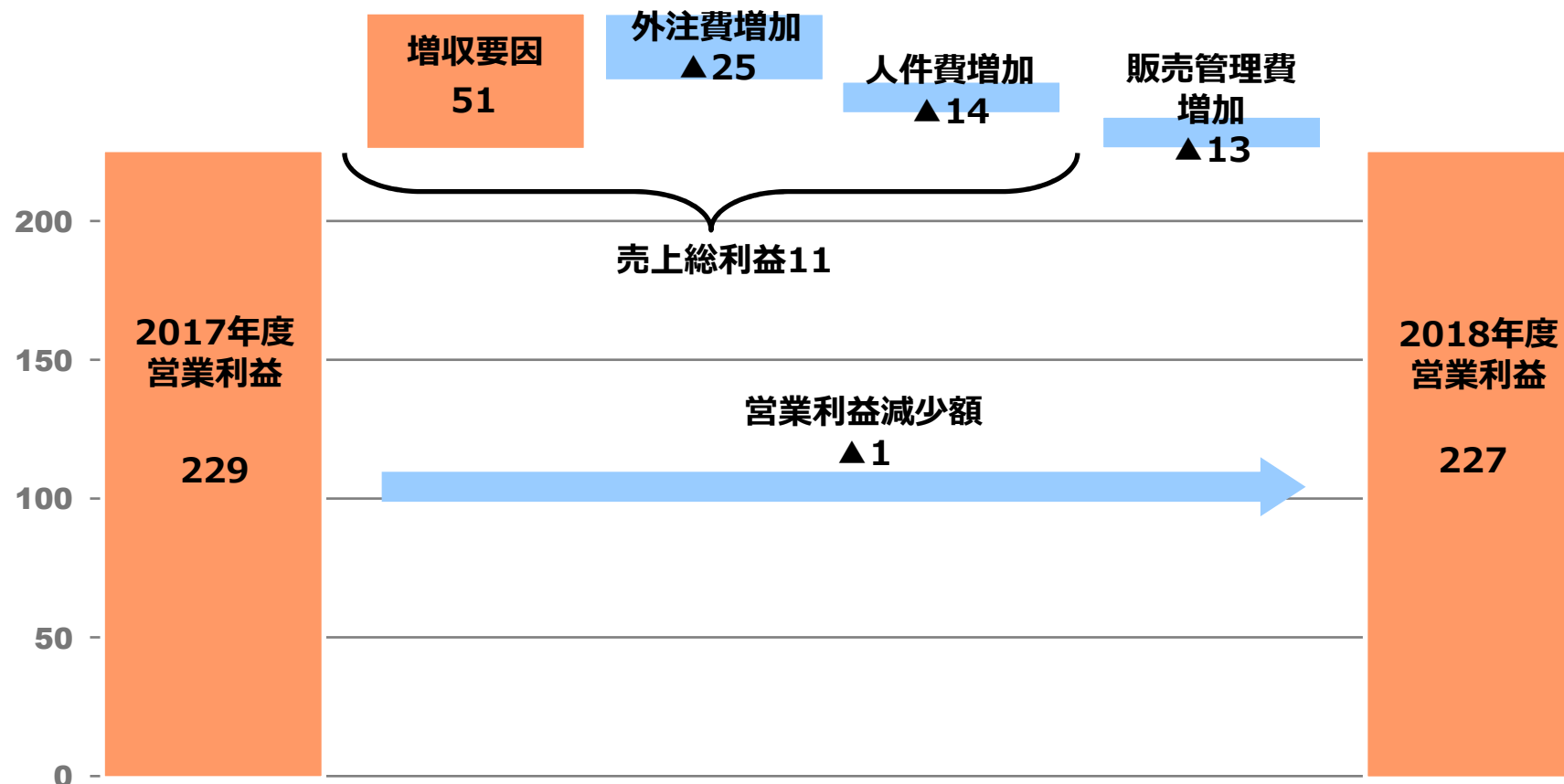
中期経営計画において下記の人員計画を作成しております。第3四半期末現在、**工事監督数**は、**前年同期末2名増の31名**となっております。計画を達成するため、積極的な採用活動を行ってまいります。



営業利益の増減要因分析(個別):第3四半期(2019年1月期)

原価の割合が前年と比較して高くなっております。売上総利益は増益となりましたが、本社移転等の一時費用により営業利益は若干の減益で着地しました。

単位: 百万円



貸借対照表：第3四半期(2019年1月期)

単位：百万円

	2019年1月期 第3四半期 (連結)	2019年1月期 第3四半期 (個別)	前事業年度末 (個別)	増減額 (個別)	主な増減要因
流動資産	3,486	3,442	3,521	▲79	固定資産の譲渡および債権の回収による現金預金の増加によるもの
(うち現金預金)	(1,369)	(1,341)	(752)	588	
固定資産	334	357	383	▲25	本社ビル売却による固定資産減少によるもの
流動負債	1,330	1,313	1,527	▲214	短期借入金の減少によるもの
固定負債	55	46	45	1	退職給付引当金の増加によるもの
純資産	2,435	2,440	2,332	107	利益の積立によるもの
総資産	3,821	3,800	3,905	▲105	

受注状況：第3四半期(2019年1月期)

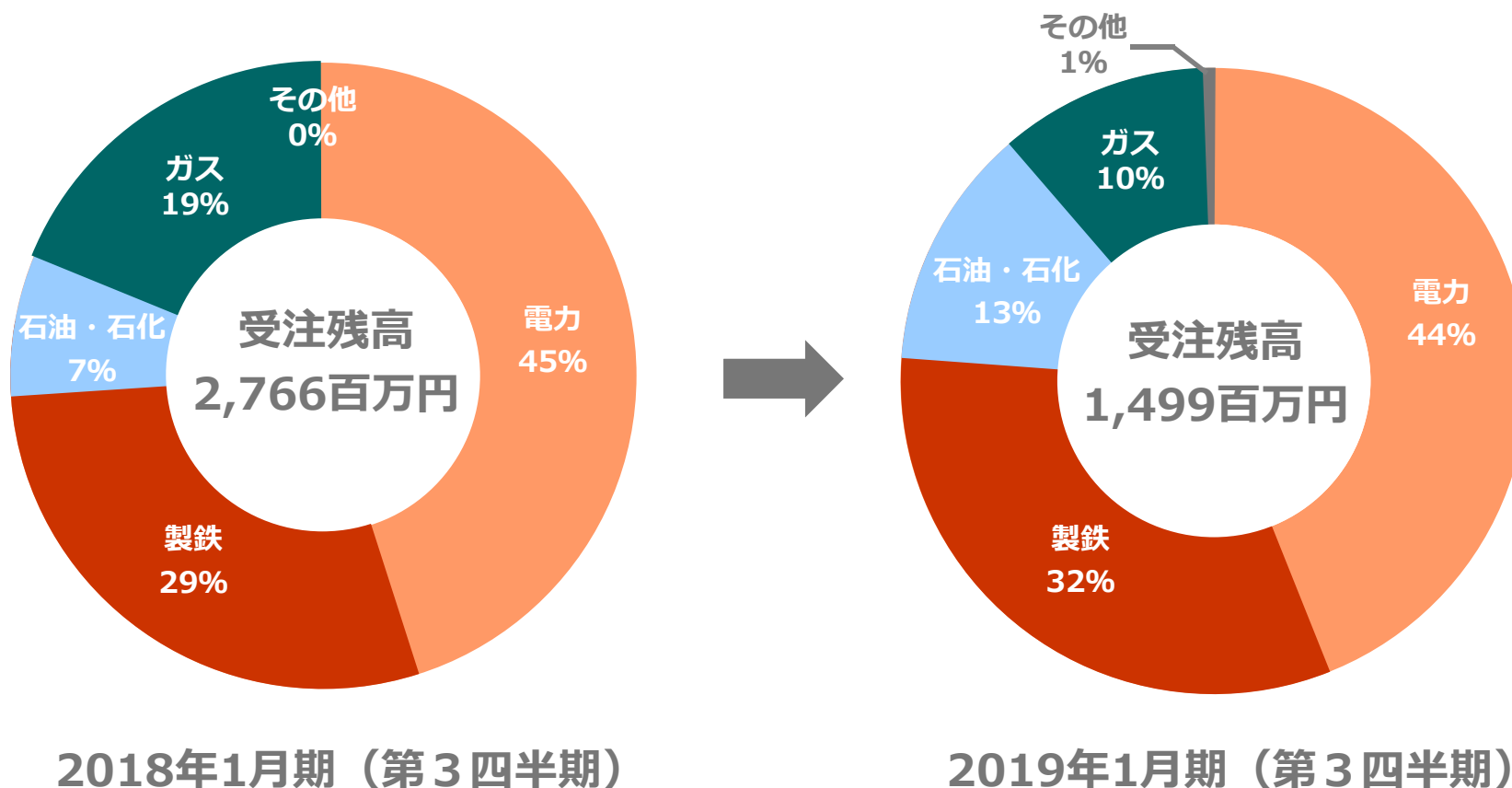
第3四半期会計期間中に1,248百万円の受注をしており、受注工事高は堅調に推移しております。そのため、受注残高は順調に消化されておりますが、十分な残高を維持しております。

単位: 百万円

	2019年1月期 第3四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	2,218	2,303	▲85	▲3.7%
受注工事高	2,412	3,332	▲920	▲27.6%
完成工事高	3,131	2,869	261	9.1%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,499	2,766	▲1,267	▲45.8%

業界別 受注残高構成比率

電力関係の大型工事の受注が多くなり、電力の比率が高くなっております。化学、ガス業界からの案件も増加しており、各業界から多くの引き合いを頂いております。



通期業績予想 (2019年1月期)

固定資産(本社ビル)の譲渡に伴い、388百万円の譲渡益を特別利益に計上したため、通期業績予想の修正を行いました。

単位: 百万円

	修正後 業績予想 2019年1月期 (連結)	前回 業績予想 2019年1月期 (連結)	実績 2018年1月期 (個別)	増加率 (参考)
売上高	5,100	5,100	4,496	13.4%
営業利益	422	422	386	9.3%
経常利益	406	406	373	8.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	540	286	264	104.5%
1株当たり 当期純利益	65円	34円	31円	—

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベステラ株式会社

